

福岡市医師会 定例記者会見資料

ご質問と回答		
NO	ご質問	回答
1	・ 第8波の認識と見通し、インフルエンザ感染状況とワクチン接種状況	2.総論 福岡市感染症概況等 …スライド資料の中で お伝え致します。
2	・ 医師会としての対応状況	
3	・ 現時点の流行状況を踏まえ、インフル等への適切な対応方法	
4	・ オミクロン株流行後の主な症状の傾向	
5	・ 医療現場の状況 (病床使用率、スタッフの出勤状況など)	4.質疑応答 …質疑応答にて お伝え致します。
6	・ 小児の新型コロナ感染状況	
7	・ 小児のコロナワクチン接種状況 (課題等)	

※ご質問に対する回答は定例記者会見時点での内容です。今後の感染状況等により内容が変更になる場合があります。

令和4年12月7日

定例記者会見

令和4年12月7日(水) 13時30分

質疑応答



1.報道機関からのご質問

- ・ 医療現場の状況
(病床使用率、スタッフの出勤状況等)

○福岡コロナ警報

ひとりひとりの行動が
福岡を救う。日本を救う。

SAVE
FUKUOKA!
SAVE
JAPAN!

福岡オミクロン警報

解除中

警報
発動中

指 標		12月3日	12月4日	12月5日
新規陽性者数(7日移動平均) (=直近7日間の平均)		↓ 3,028.7人	↓ 3,009.0人	↑ 3,032.1人
病 床 使 用 率		33.2% (673床/2,024床)	34.4% (697床/2,024床)	36.1% (732床/2,024床)
注視すべき 項目	新規陽性者数の今週先週比	1.2(21,201人/17,361人)	1.1(21,063人/18,062人)	1.1(21,225人/18,422人)
	重症病床使用率	1.8% (4床/217床)	1.8% (4床/217床)	1.3% (3床/217床)
	重症者数と中等症者数の合計	144人 (4人+140人)	153人 (4人+149人)	174人 (3人+171人)

- 福岡オミクロン警報 … 「発動中(12月1日～)」
- 新型コロナ受入病床 … 2,024床 (うち重症病床217床)
- 民間の宿泊療養施設 … 11施設・2,239室確保

令和4年12月5日

※福岡県HPより

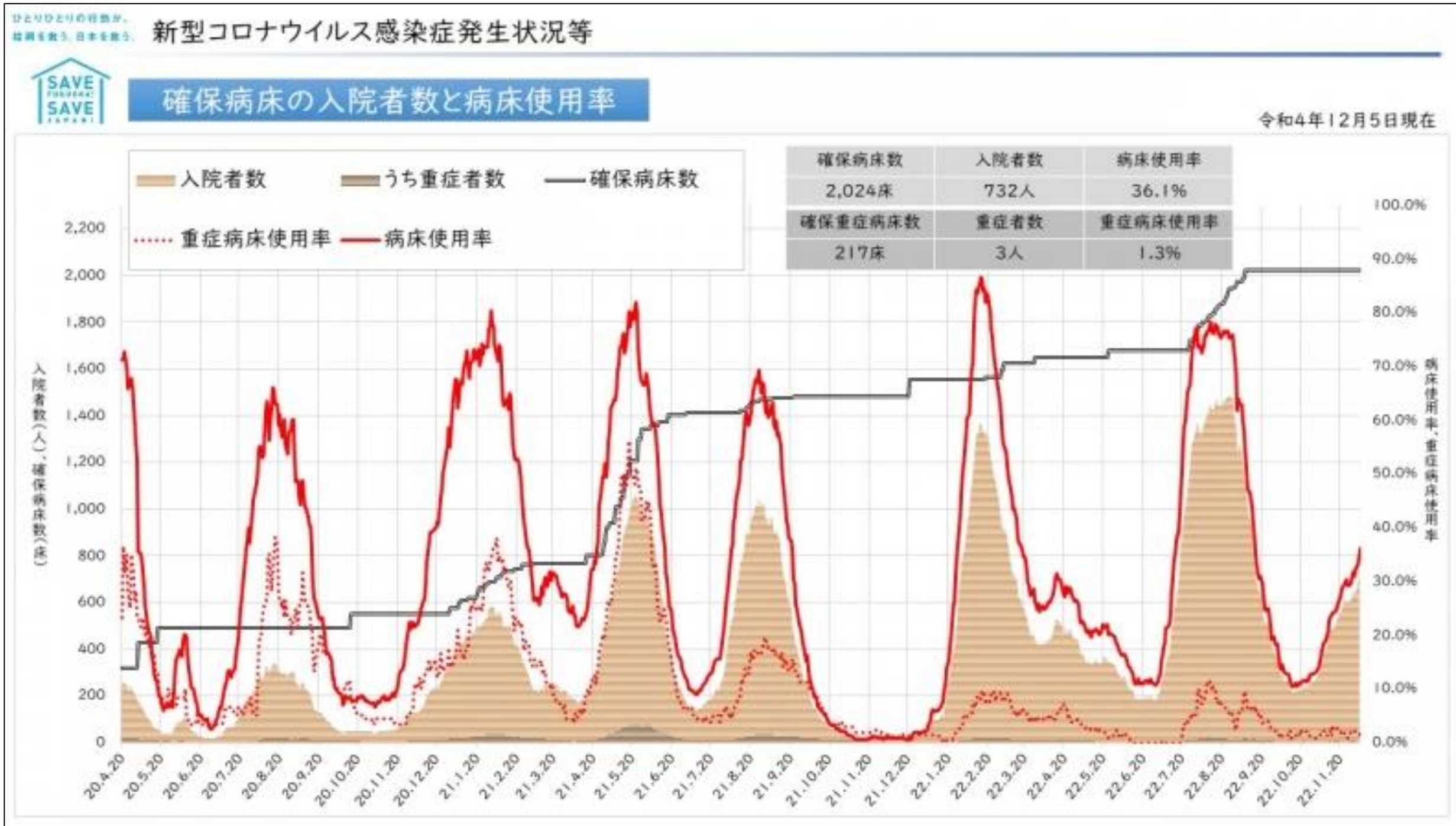
○重症度別入院者数



令和4年12月5日時点

※福岡県HPより

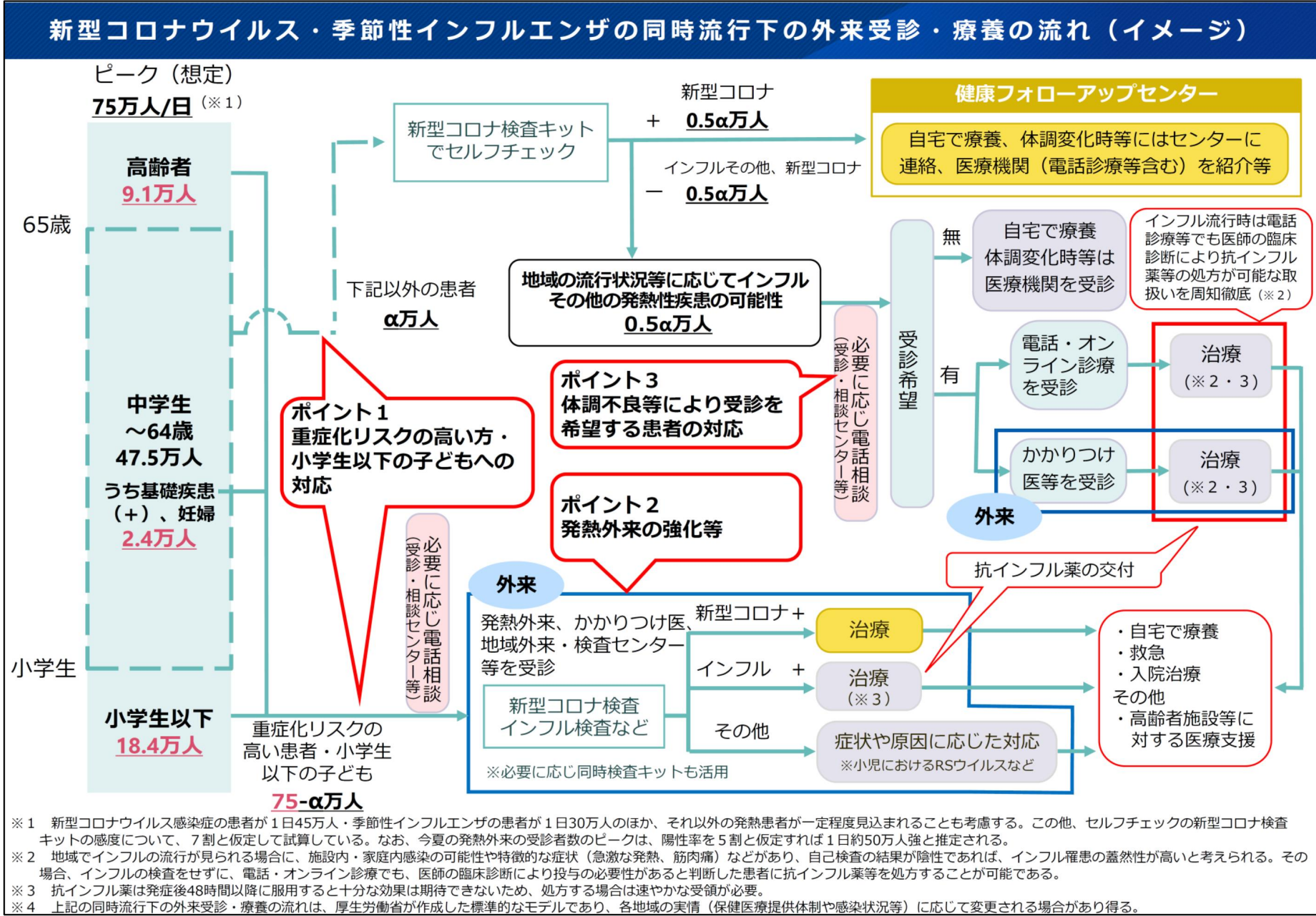
○確保病床の入院者数と病床利用率



令和4年12月5日時点

※福岡県HPより

○新型コロナウイルス・季節性インフルエンザの同時流行



※厚生労働省 新型コロナ・インフル同時流行対策タスクフォース 資料より

一般社団法人福岡市医師会

2.報道機関からのご質問

- ・ 小児の新型コロナ感染状況
- ・ 小児のコロナワクチン接種状況

○小児の新型コロナウイルス感染状況について

ひとりひとりの行動が、
福岡を救う。日本を救う。

新型コロナウイルス感染症発生状況等

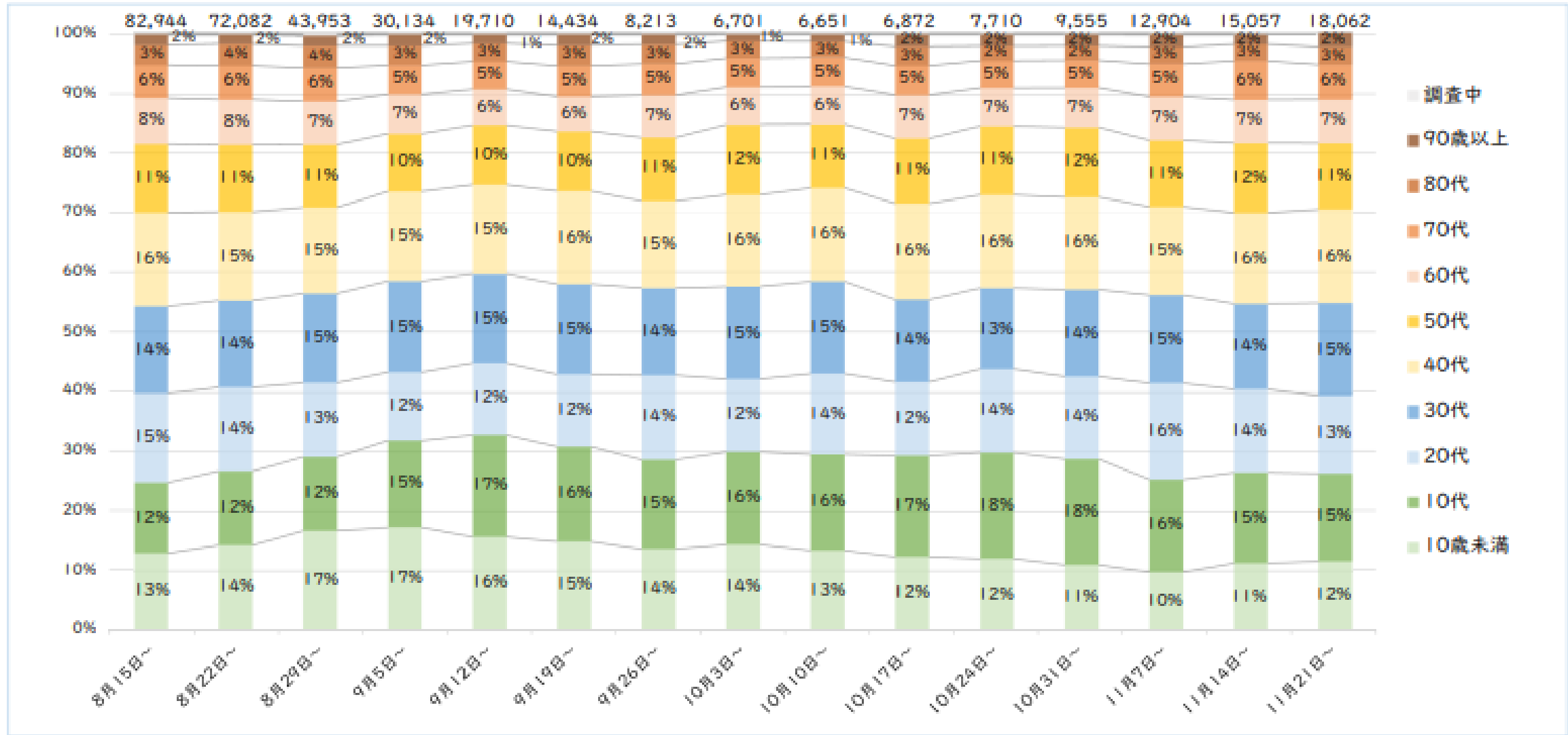
福岡県新型コロナウイルス感染症対策本部

資料2



年代別新規陽性者割合（割合の週次推移）

令和4年11月27日現在



令和4年11月27日時点

※福岡県HPより

○国内におけるCOVID-19 小児の死亡者数・重症者数の増加

	死亡者数（累積）			重症例（累積）		
	<10歳	≥10歳	計	<10歳	≥10歳	計
令和3年6月22日	0	0	0	2	2	4
令和3年11月2日	0	3	3	6	6	12
令和4年1月25日	0	4	4	8	6	14
令和4年7月26日	8	9	17	98	49	147
令和4年10月30日	27	12	39	160	72	232

※厚生労働省ホームページより（令和4年10月30日現在）

○小児の接種について

<日本小児科学会>

生後6か月以上5歳未満のすべての小児に
新型コロナワクチン接種を**推奨**

○要旨

- ・ 小児患者数の急増に伴い重症例と死亡例が増加
- ・ **オミクロン株流行以降**、小児特有のクルーズ症候群、熱性けいれん増加、脳症、心筋炎などの**重症例も報告**
- ・ 生後6か月以上5歳未満の小児におけるワクチンの有効性は、オミクロン株BA.2流行期における**発症予防効果**について**生後6か月～23か月児で75.8%、2～4歳児で71.8%**と報告
重症化予防効果は発症予防効果を上回ることが期待
- ・ 生後6か月以上5歳未満の小児におけるワクチンの安全性は、治験で観察された有害事象はプラセボ群と同等で、その後の米国における調査でも重篤な有害事象はまれと報告

※日本小児科学会予防接種・感染症対策委員会

「生後 6 か月以上 5 歳未満の小児への新型コロナワクチン接種に対する考え方」(2022年11月2日)より作成

○小児の感染対策

<日本小児科学会>

小児におけるインフルエンザと 新型コロナウイルス感染症の同時流行に備えて

○要旨

- ・ 今年、南半球の国々や中国の一部で3年ぶりにインフルエンザが流行、今冬、国内で新型コロナとの同時流行が危惧
- ・ **両感染症を症状だけで区別は困難**、検査が必要なことがあり、同時流行により発熱外来のある小児科や小児救急外来が逼迫、**通常の小児科診療が行えない可能性**
→ 予防が重要、**ワクチン接種が最も有効**
- ・ インフルエンザワクチン → 流行前(例年12月)の接種
新型コロナワクチン → 5～11歳 …小児用ワクチン接種
6か月～4歳…乳幼児用ワクチン接種
- ・ 対策をしていても感染症にかかってしまうことはあり、もし熱が出ても、**機嫌がよく、経口摂取（哺乳）でき、普段通りに眠れている場合**などは、まずはかかりつけの医療機関にご相談ください。

※日本小児科学会予防接種・感染症対策委員会 日本小児科医会公衆衛生委員会
小児におけるインフルエンザと新型コロナウイルス感染症の同時流行に備えて
～お子様の保護者の皆様へ～(2022年11月2日)より作成

○福岡県の小児用ワクチン接種状況

都道府県	人口	1回目		2回目		3回目		総計
		接種件数	接種率	接種件数	接種率	接種件数	接種率	接種件数
福岡県	327,325	55,482	16.95%	51,256	15.66%	13,774	4.21%	120,512

令和4年12月5日公表時点

※首相官邸HPより